



令和7年度地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会情報共有会合
 平成30年北海道胆振東部地震における厚真町の応急対応
 ～地理空間情報の活用事例と今後の可能性～

令和8年2月6日(金)

Ⓜ 厚真町 総務課情報防災担当参事 小山 敏史

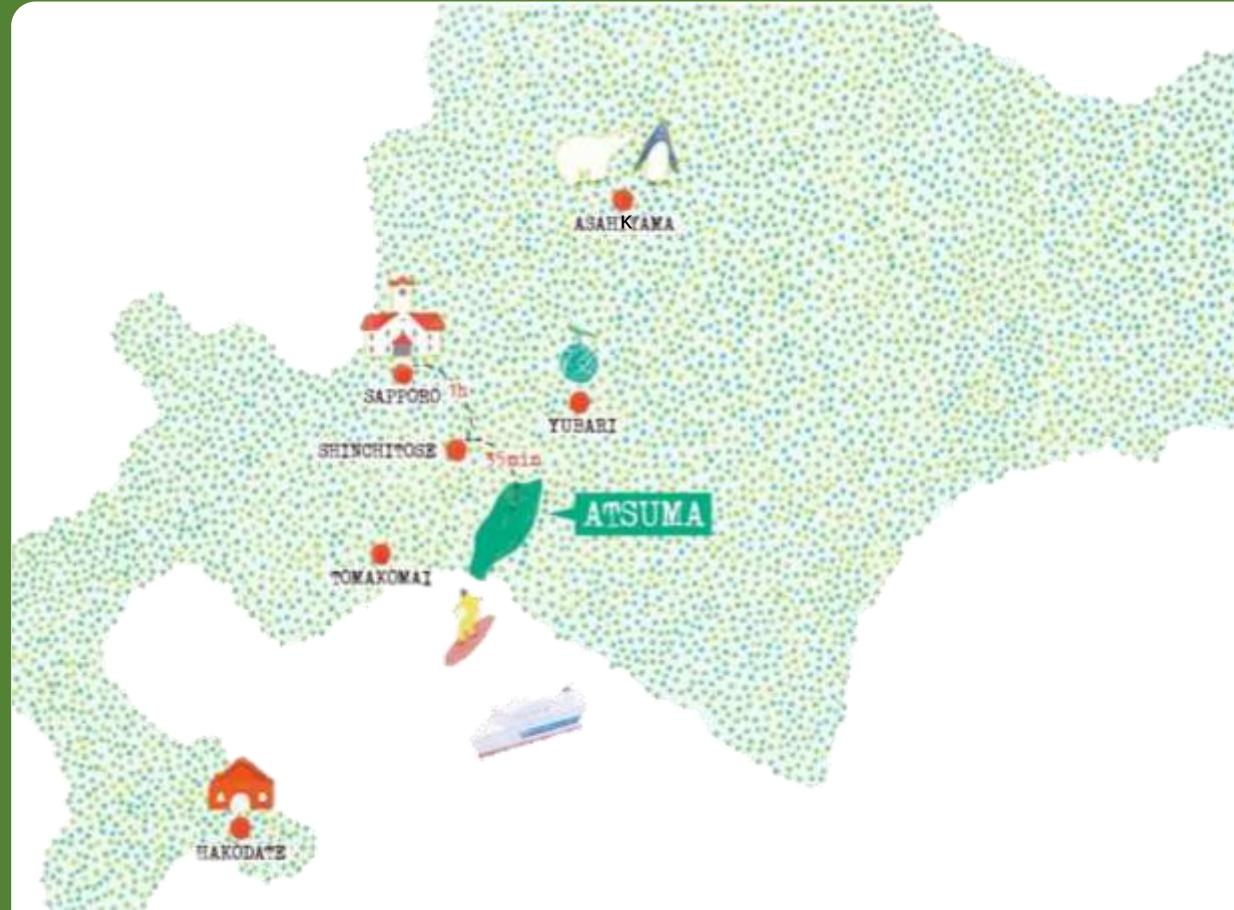
Agenda:

- 1 厚真町と平成30年北海道胆振東部地震の概要
- 2 応急対応期における地理空間情報の重要性(事例紹介)
- 3 復興から創生へ、災害に強いまちづくりへ

Agenda:

- 1 厚真町と平成30年北海道胆振東部地震の概要
- 2 応急対応期における地理空間情報の重要性(事例紹介)
- 3 復興から創生へ、災害に強いまちづくりへ

北海道厚真町の概要



人口(R8.12月末)	面積	年間平均気(R7)	年間降水量(R7)
4,218人	405.38km ²	7.0度	1,028mm

都市部へのアクセス(自動車)

札幌市まで	65km	新千歳空港まで	28km	苫小牧市まで	35km
	約80分		約35分		約40分

平成30年(2018年)9月6日 午前3時7分

北海道胆振東部地震

マグネチュード6.7 最大震度7

震央地名:胆振地方中東部(北緯42.7度、東経142.0度)

震源の深さ:37km

平成30年北海道胆振東部地震



北海道内震度5弱以上の市町村

震度7	厚真町
震度6強	安平町、むかわ町
震度6弱	札幌市東区、千歳市、日高町、平取町
震度5強	札幌市清田区、白石区、手稲区、北区、苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町
震度5弱	札幌市厚別区、豊平区、西区、函館市、室蘭市、岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、由仁町、栗山町、白老町

大規模地震(震度7以上)の発生状況

発生年月日105	地震名	M	震度	津波	人的被害	住家被害
令和6年1月1日 午後4時10分	令和6年能登半島地震 ※令和7年12月26日時点	7.6	7	4.7m 以上	死者 684人 負傷者 1,277人	全壊 6,168棟 半壊 18,729棟 一部損壊 91,578棟
平成30年9月6日 午前3時7分	平成30年北海道胆振東部地震	6.7	7		死者 44人 負傷者 785人	全壊 491棟 半壊 1,818棟 一部損壊 47,108棟
平成28年4月14日 午後9時26分	平成28年熊本地震	6.5	7		死者 272人 負傷者 2,808人	全壊 8,668棟 半壊 34,720棟 一部損壊 162,562棟
平成28年4月16日 午前1時25分		7.3	7			
平成23年3月11日 午後2時46分	平成23年東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	9.0	7	9.3m 以上	死者 19,667人 不明者 2,566人 負傷者 6,231人	全壊 121,783棟 半壊 280,965棟 一部損壊 745,162棟
平成16年10月23日 午後5時56分	平成16年新潟県中越地震	6.8	7		死者 68人 負傷者 4,805人	全壊 3,175棟 半壊 13,810棟 一部損壊 105,682棟
平成7年1月17日 午前5時46分	平成7年兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	7.3	7		死者 6,434人 不明者 3人 負傷者 43,792人	全壊 104,906棟 半壊 144,274棟 一部損壊 390,506棟

想像を絶する土砂災害

明治時代以降最大 北海道全体 4,400ha
厚真町で3,240haの崩壊面積

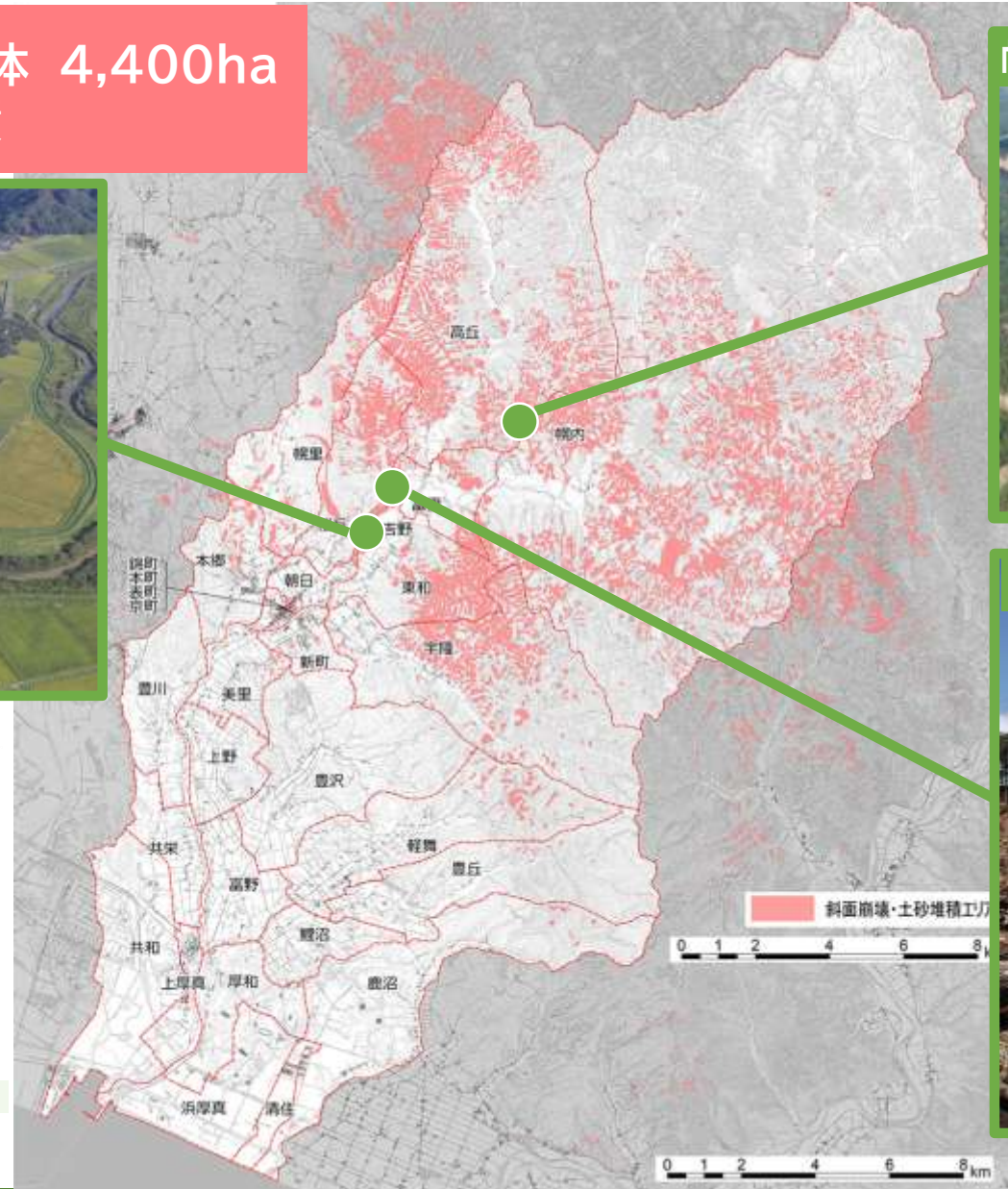
吉野地区



幌内地区



富里地区



(参考)過去の地震による崩壊面積の比較

地震名	発生日月	地震の規模 (M)	崩壊面積 (km ²)
北海道南西沖地震	1993/7/12	7.8	1.0
兵庫県南部地震	1995/1/17	7.3	0.3
鹿児島県北西部地震	1997/3/26	6.5	0.1
新潟県中越地震	2004/10/23	6.8	11.2
能登半島地震	2007/3/25	6.9	0.1
新潟県中越沖地震	2007/7/16	6.8	0.2
岩手・宮城内陸地震	2008/6/14	7.2	10.2
東北地方太平洋沖地震	2011/3/11	9.0	4.4
熊本地震	2016/4/16	7.3	2.9
北海道胆振東部地震	2018/9/6	6.7	44.0

画像提供:北海道

SUMA LOVERS

■ 90%以上
 ■ 70～90%未満
 ■ 60～70%未満
 ■ 50～60%未満
 ■ 40～50%未満
 ■ 30～40%未満
 ■ 20～30%未満
 ■ 10～20%未満
 ■ 10%未満
 □ 全半壊建物なし

9

ライフラインの被害状況

電気	停電戸数	停電期間	備考	
	全域で停電	9/6～9/8		
水道	区分	断水戸数	断水期間	備考
	厚真地区	1,188	9/6～10/9	
	上厚真地区	753	9/6～9/24	
	合計	1,941		
地域情報	区分	被害戸数	不通期間	備考
	あつまネット	29	9/6～12/28	
	テレビ共聴施設	62	9/6～12/28	
農業	区分	箇所数等		備考
	農地	95箇所 155.31ha		
	農業用施設	69箇所		
	農業機械・施設	183戸		
	共同利用施設	8箇所		
	国営勇払東部地区かんがい排水事業	厚真ダム 頭首工 1箇所 揚水機 1箇所 導水路 18.2km		余水吐、取水施設、法面等
林業	区分	箇所数		備考
	林道	3路線		国の災害復旧事業対象分
	森林	3,230ha		



水道復旧工事(新町地区)



たんとうまいステーション(上野地区)

道路・交通機関の被害状況

	状 況	備 考
道 路	通行止め 国道:4路線4区間 道道:14路線20区間 高速道路:4路線6区間	9月9日に高速道路の通行止めが解消されたのに続き、 9月11日には国道の通行止めが解消された。
鉄 道	全面運休 在来線・新幹線	9月7日から一部運行を再開。JR日高線の苫小牧～鷗 川間は軌道変移・橋梁桁ずれのため、運航中止となっ たが、11月19日から徐行運転により運行を再開した。
空 港	全便欠航 新千歳:国内線・国際線 一部欠航 その他	9月6日に新千歳空港を発着する国内線・国際線が全 文欠航となったが、9月7日には国内線が、8日には国 際線がそれぞれ運航を再開した。
海上交通	閉 鎖 苫小牧港国際ターミナル	フェリー航路はほぼ通常通りに運航。苫小牧港の国際 コンテナターミナルが液状化などにより閉鎖となっ たが、9月11日には稼働を再開した。



Agenda:

- 1 厚真町と平成30年北海道胆振東部地震の概要
- 2 応急対応期における地理空間情報の重要性(事例紹介)
- 3 復興から創生へ、災害に強いまちづくりへ

幌里地区

厚真町北西部に位置し、山林や農地、牧場に囲まれた農家住宅が千歳鷗川線(道道10号)から分岐する町道幌里本線沿線(約3km)に散在する農村景観の地域。
地区内の人口 36世帯 70人(H30.8.30)
人的被害:犠牲者4名 全半壊率 77.8%

厚真町役場

空中写真

厚真川地区(北海道勇払郡厚真町・安平町・むかわ町) 空中写真
(9月6日撮影)

国土地理院HP

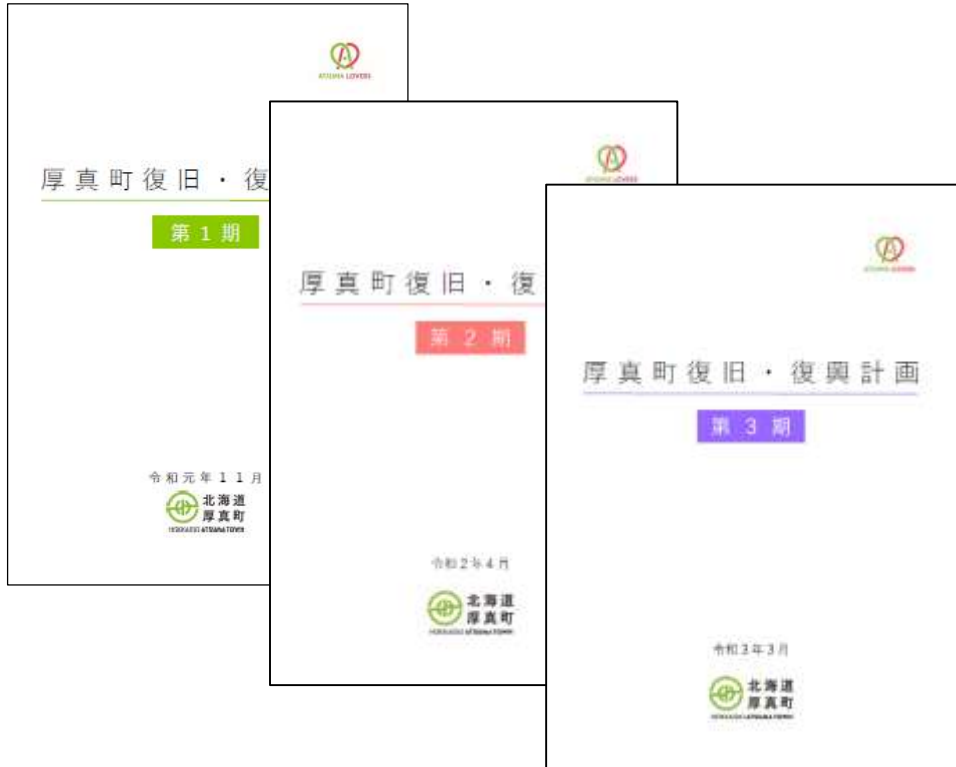
<https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30-hokkaidoiburi-east-earthquake-index.html#3>

Agenda:

- 1 厚真町と平成30年北海道胆振東部地震の概要
- 2 応急対応期における地理空間情報の重要性(事例紹介)
- 3 復興から創生へ、災害に強いまちづくりへ

復旧・復興計画の策定

復興ビジョン「つながりを未来へ」



震災からの各フェーズに復興計画を3期に分けて策定

第1期 令和元年11月1日策定

- ・住まいと暮らしの再生に特化した内容
- ・被災者一人ひとりの被災状況に寄り添った支援

第2期 令和2年4月1日策定

- ・復旧・復興に向けた取組の全体像を各施策別を示す
- ・基本方針は「住まい・暮らしの再建」、「なりわい(仕事)の再生」、「災害についまちづくり」

北部4地区地区地域再生計画 令和2年9月1日作成

- ・特に被害が甚大であった幌内・高丘・富里・吉野地区を対象に災害に強い地域づくりとコミュニティの再生を目的に策定

第3期 令和3年3月31日策定

- ・第4次厚真町総合計画改訂版の内包計画として、「第2期 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」、「強靱化計画」を併せて策定
- ・復旧から復興、そして創生へ中長期の取組



地域再生計画の策定①

町北部の山間地では流出土砂による被害をはじめ、甚大な被害が発生。

北部4地区 地域再生計画(R2.9策定)



問題点

道路の寸断による
集落の孤立

避難場所まで
到達できない

住宅の被災

集会所の被災

心身の不調

農業者の被災

人口減少

etc

課題(住民ワークショップより)

北部4地区特有の課題 (早急な対応が求められるもの)

安全な住宅や宅地、
避難路、避難所等、
土地利用の見直し

従前地区や近隣で
住み続けられる
住宅の確保

コミュニティの拠点と
なる施設や場所の確保

コミュニティの持続

町全体で共通する課題

生産基盤の復旧

心身の健康の維持・
増進に向けた支援

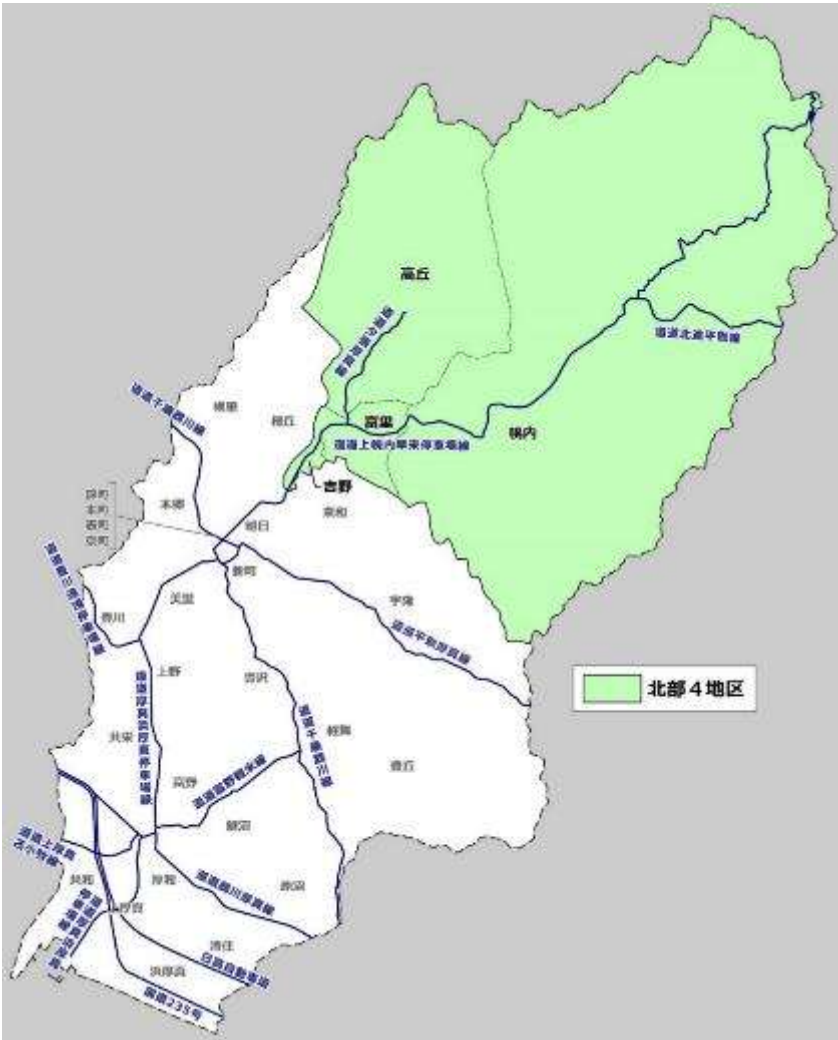
慰霊施設や記憶や
記録の伝承

地域再生方針

地域で住み
続けられる
住まいの確保

災害に強い、
安全・安心な
生活基盤づくり

災害時の避難
施設整備と
コミュニティ
持続・発展に
向けた支援



地域再生計画の策定②

コミュニティの再生

- ・集落支援員の配置、地域の巡回
- ・自主防災組織の設立・活動支援
- ・空家の資産・流動化の促進

エネルギー地産地消事業

- ・中核施設に太陽光パネルおよび蓄電池等の設備を整備
- ・非常時及び平常日に利用可能なエネルギーを確保

森林および林業の再生

- ・治山事業の実施および路網の再整備
- ・植樹会や、崩落した森林の自然回復の過程を観察する会などを実施

集落の地域の中核となるゾーンを形成

- ・小規模改良住宅の建設
- ・パークゴルフ場の整備

厚真川左岸の避難路整備

- ・北部地域から厚真市街地への避難路の複線化
- ・一部箇所の道路幅拡幅

北部地域の防災拠点の整備

- ・避難場所と集会所を兼ねた北部地域の防災拠点の建設

大規模斜面崩落地

- ・震災の記憶を後世に伝える遺構として保存・活用を検討

吉野地区環境整備・土地利用構想の検討

- ・奈良県吉野の桜の植樹など環境整備を行うとともに、関係者との協議、検討により将来的な土地利用構想を作成する。

凡例

- | | | | | |
|-----------|----------|-------|--------|------------|
| —— 主要な道路 | ■ 水面 | ■ 建築物 | □ 字界 | ■ 土砂災害危険区域 |
| —— その他の道路 | —— 河川・水路 | ■ 農用地 | ■ 浸水区域 | |

復旧・復興への6年の軌跡

- 9. 6 3時7分地震発生
震度7 マグネチュード6.7
災害対策本部の設置
- 9. 7 ボランティアセンター開設
避難者の数がピークに(1,118人)
- 9. 8 24箇所で災害ごみの受入開始
- 9.18 町内小中学校4校と北海道厚真高等学校が授業再開、町内こども園2園が再開
- 9.20 臨時災害放送局「あつま災害エフエム」が開局
- 9.30 リ災証明書交付開始
- 10. 9 町内の水道管復旧作業が終了
- 10.14 陸上自衛隊・航空自衛隊による支援活動が終了
- 11. 1 応急仮設住宅への入居開始
- 11.15 当時の天皇(現上皇さま)、皇后(現上皇后さま)両陛下がご訪問



2018.9.6 発災

- 12.6 総合福祉センター
スポーツセンター
避難所の閉鎖により、全ての避難所が閉鎖
- 12.15 平成30年北海道胆振東部地震
慰霊式

「明日の厚真への愛ことば」
ATSUMA LOVERS作成

- 12.28 災害対策本部を廃止、胆振東部地震復旧・復興推進本部を設置

- 1.21 応急福祉仮設住宅への入居開始
- 1.27 復興イベント「絆～手と手を繋いで頑張ろう厚真」開催



- 2.21 21時22分地震発生
震度6弱 マグネチュード5.8
- 3. 1 復旧・復興計画策定方針を策定
- 3.11 共同仮設店舗「京町キューブ」設置



- 6.15 第47回あつま田舎まつりを
かしわ公園野球場で開催
- 6.29 災害関連死1件認定



- 9. 7 令和元年北海道
胆振東部地震追悼式



- 10.26 平成30年北海道胆振東部地震を振り返り今後の減災・復興を考えるシンポジウム
- 11. 1 復旧・復興計画第1期策定

- 1.下旬 災害公営住宅事業着手
- 3.31 公費解体の完了
- 4. 1 復旧・復興計画第2期策定
- 7.31 富里浄水場から、全町への給水を開始



- 11.24 新町のぞみ団地・本郷きずな団地の入居開始
- 12.20 社会福祉法人北海道厚真福祉会が新施設へ引越し
- 12.29 臨時災害放送局のあつま災害エフエムが閉局
- 12.31 災害ボランティアセンターが閉鎖

応急型仮設住宅からの退去が完了にともない撤去作業を開始

- 3. 31 第4次厚真総合計画改訂版策定
- 5.15 吉野地区に公益財団法人吉野山保勝会から寄贈されたシロヤマザクラを植樹
- 7. 3 森林再生・林業再生シンポジウム



- 9. 5 慰霊碑除幕

- 2023
 - 5.28 第73回北海道植樹祭
 - 7.22 秋篠宮皇嗣殿下秋篠宮皇嗣妃殿下来町ご視察
 - 8. 4 胆振東部地震から5年シンポジウム
 - 9. 2 追悼式・献歌
 - 9.22 復興まちづくりサミット
- 2022
 - 4. 6 「ゼロカーボンシティあつま」宣言
 - 7.30 第50回あつま田舎祭り3年ぶりの開催
 - 11.29 被災3町座談会(リアル+オンライン)
- 2021
 - 11.13 公益社団法人イオン環境財団が吉野地区で桜を植樹
 - 11.19 厚真中学校で防災授業
 - 11.24 被災3町オンライン座談会
 - 12.24 厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」完成



関係機関の連携による迅速な復旧工事

○復旧事業の進捗状況(令和6年3月31日時点)

区 分	全体 箇所数	完 了		完了年月 (予定)
		箇所数	完成率	
河川・道路・橋 梁・公園	240	240	100.0%	R4.3
治山	106	89	84.0%	R9.3
砂防・急傾斜	12	12	100.0%	R3.3
宅地体積土砂	6	6	100.0%	R2.3
上下水道施設	9	9	100.0%	R2.11
宅地耐震化	2	0	0.0%	R10.3
農地・農業用 施設	148	148	100.0%	R3.11
林道	28	28	100.0%	R4.3
合計	551	532	96.5%	

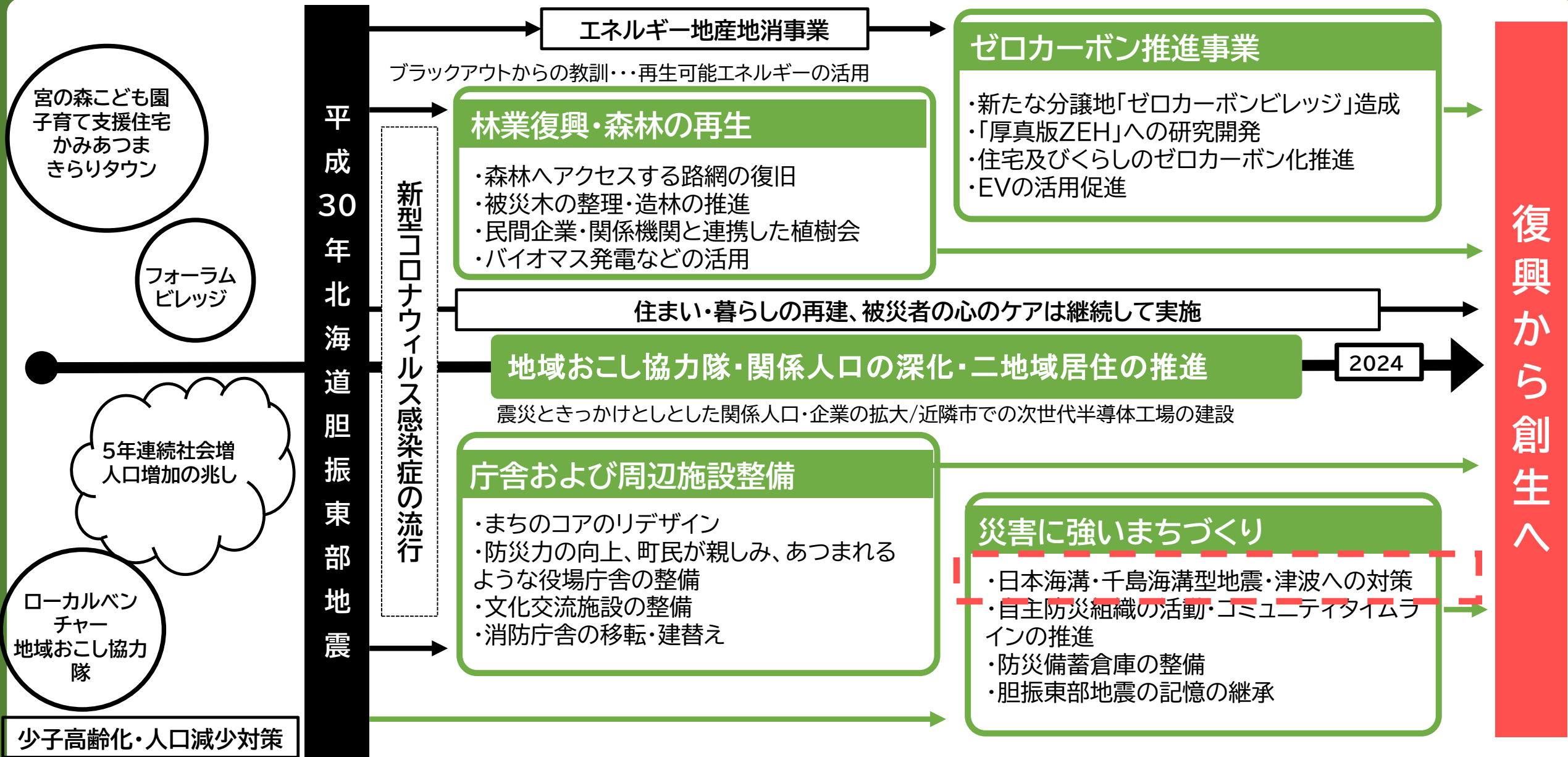
・北海道と町事業の合計(国直轄は除く)

・「治山」は、治山激甚災害対策特別緊急事業によりR5年度まで集中的に実施。R6年度以降もR8年度までは森林再生の集中期間として森林造成、林道整備とあわせて総合的に実施。

・宅地耐震化推進事業についてはR6年度末までに事業費ベースで70%以上が完了。



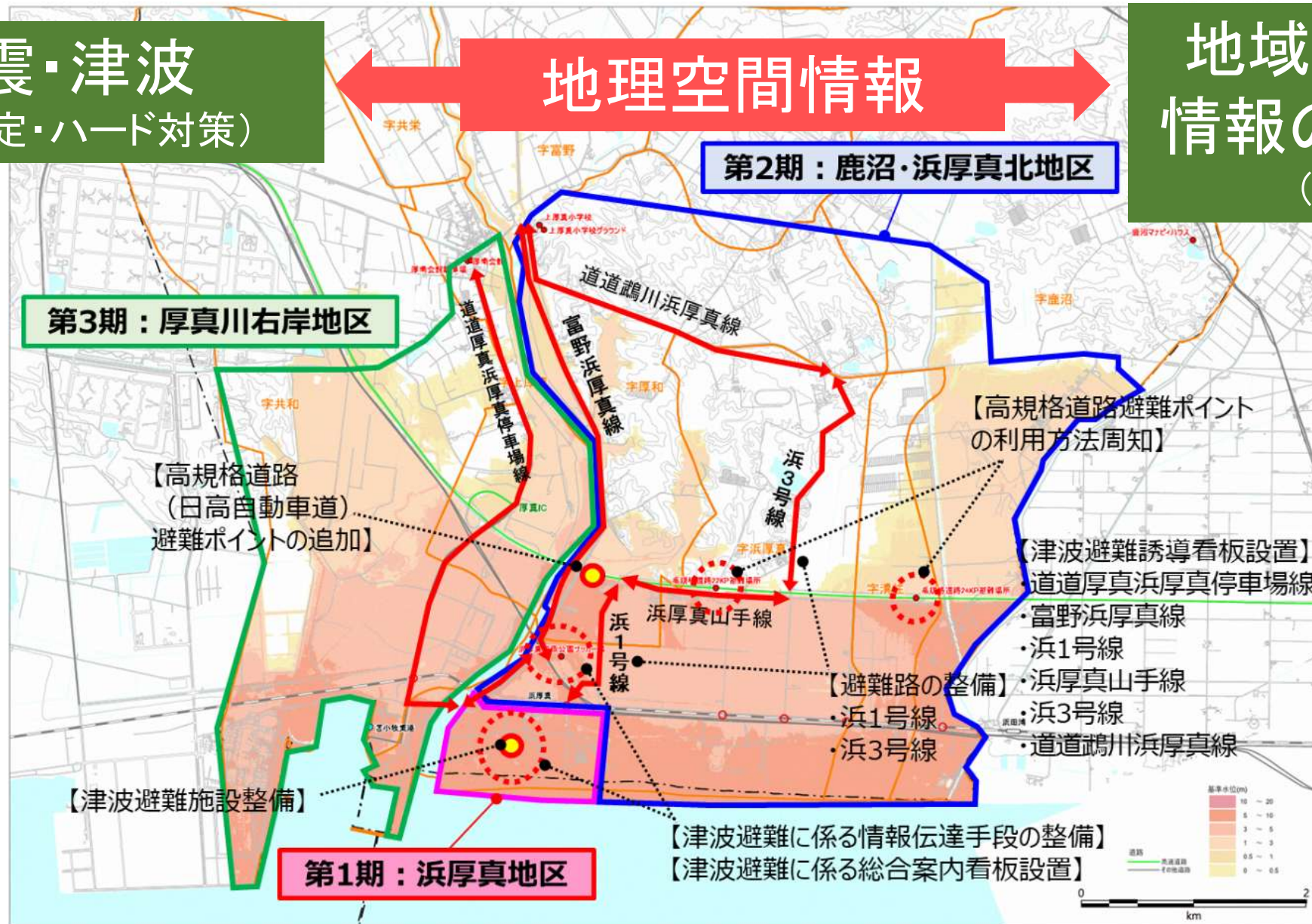
復旧・復興から創生へ(政策の流れ)



地震・津波
(被害想定・ハード対策)

地理空間情報

**地域の取り組み
情報の発信・伝達**
(ソフト対策)







あつまのおと ATSUMA-NOTE

厚真町で、みんなの挑戦をみんなで叶える

<https://atsuma-note.jp/>



アツマイホーム

厚真町の住まい探しをお手伝い

<https://www.town.atsuma.lg.jp/atsumyhome/>



ATSUMA TOWN WORKCATION STYLE

あつまじかんを過ごす厚真ワーケーションスタイル

<https://atsumaworkcation.jp/>



一社) 厚真町観光協会

アツマレ！厚真の自然・食・農を体験する

<https://atsuma-kankoukyoukai.jp/>



ふるさとチョイス厚真

地域の美味しいものをたっぷり味わう

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/01581>

自然と共に生きていく。